

キャサリン・キムラ氏の功績概要

1 主要経歴

キャサリン・キムラ氏は、30年超にわたり北カリフォルニアジャパソサイエティ（会長職及び25年超の理事職を含む）の行事・活動を成功に導き、対日理解増進に大きく貢献した。また、サンフランシスコ大阪姉妹都市協会の共同会長として精力的に活動するとともに、自らが居住するミルブレイ市の姉妹都市委員会委員として羽生市との友好都市協定を締結に導いた。さらに、ミルブレイ日本文化祭りの創設に多大な貢献をし、日本語及び日本文化の普及並びにこれを通じた対日理解増進に尽力し続けている。

2 対日功績

①北カリフォルニアジャパソサイエティ理事（元会長）等

キャサリン・キムラ氏は、平成元年より同ソサイエティの理事を務めている他、平成6年から同9年にかけては同ソサイエティの暫定会長および会長を務めた。

キムラ氏は、現地新興企業等との連携をはじめ日系の枠を越えた広範な機関・団体との連携模索に努め、同ソサイエティの規模拡大に寄与した。また、非日系の住民に対する日本文化の理解にも注力し、同ソサイエティが主催する日本語教室や文化発信イベントを広めた。キムラ氏の会長勇退後も本方針は継続され、現地マスメディア等を含めた広範な住民の対日理解増進に大きく貢献した。

また、同ソサイエティ会長勇退後も、桜まつり実行委員会理事を務めた他、ミルブレイ日本文化祭りの創設者の一人・同実行委員会委員長等として、日本文化を発信する地域コミュニティ行事・活動に精力的に取り組み、対日理解増進に大きく貢献した。

②各地姉妹都市協会／委員会委員等

キムラ氏は、平成9年からサンフランシスコ大阪姉妹都市協会共同会長を務め、優秀な学生の長期滞在プログラム等の提案・実現を通じ、次世代の日米間交流を担う人材育成等に貢献した。

また、平成25年からミルブレイ市姉妹都市委員会委員を務め、羽生市との友好都市協定締結（カリフォルニア州で100組目の姉妹都市）に貢献した。

（了）